

Fintech 特許紹介(3)

位置情報を用いた決済システム

2016年8月31日

河野特許事務所

所長 弁理士 河野 英仁

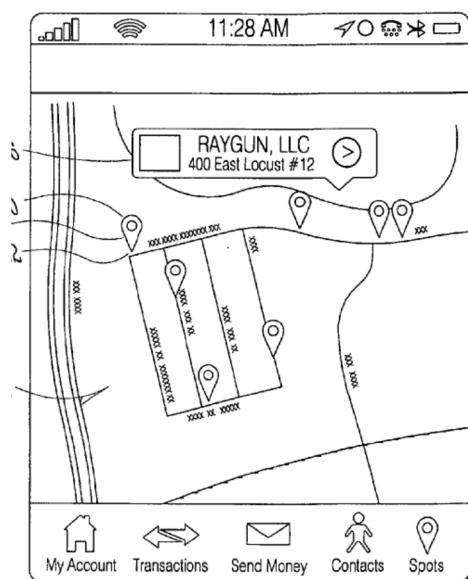
位置情報を用いた決済システム

米国公開特許番号第US2015/0262137号 出願人 Dwolla Corp

Dwolla 社は決済サービスを行う米国アイオワ州の企業である。2008年に創業し、現在では1週間当たりのトランザクションは1億円を超えるまでになった。

137 出願はスマホ間で位置情報及びMAPを活用して決済を行うアイデアである。

スマホのGPS機能を用いて、自身の周辺にいる支払い可能なユーザ、店舗を表示する



MAP 上には、同じく Dwolla のアプリをインストールしている端末が表示される。そして、支払いを希望する相手方を MAP 上で選択する。図の例では「Raygun, LLC」が選択されている。



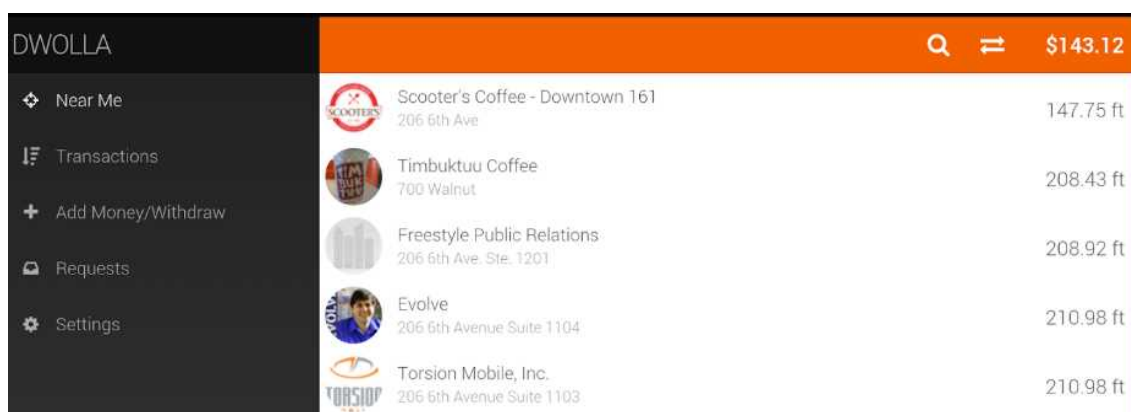
FIG. 6

ここで、“Send Money” をタップし、支払金額を入力すれば、これで支払いは完了である。



アプリストアの案内動画¹には様々な支払いシーンが紹介されている。1Fにいる大家さんに家賃を支払う場合、アプリを起動して近くにいる大家さんを選択して支払う。

¹ Google Play ホームページより 2016年8月27日
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.dwolla.dwolla&hl=ja>



通勤途中のコーヒーショップでも、”Near Me” ボタンでコーヒーショップを選択し、金額を入力する。もちろん支払いだけでなく、受け取りの請求も行うことができる。給与の受け取り、レストランでの支払いから割り勘まで、もはや財布は不要である。

MAP 表示を行い、近隣の店舗、ユーザとの間で容易に決済を行うことができるようにしたことがポイントである。

以上